

令和6年度経営発達支援計画に基づく 伴走型小規模事業者支援推進事業計画（案）

《基本方針》

令和6年度も伴走型小規模事業者支援推進事業を中心とした、事業計画策定支援及び新たな需要の開拓に寄与する事業・経営発達支援事業の評価・見直しを行う事業を中心とした支援を行う。

1 事業計画策定支援

当町では、商店街を含む高齢化が著しく進み、維持を図るために1社でも多くの事業継続が課題になっており、小規模事業者に対して事業計画策定を巡回支援等により必要性を伝えて、持続的な事業継続につながるよう専門家も交えての支援を行いたい。（3社程度を予定）

合わせて、国・北海道・市町村関係補助金等申請支援時にも支援を行いたい。

事業計画がスムーズに進むよう、専門家を交えての講習会（セミナー）を開催し、計画との乖離があるようであれば、個別相談会開催及び専門家派遣も併用しながらフォローアップによる目標の達成が図れるように支援を行いたい。

3 新たな需要の開拓に寄与する事業

地域資源を活用して製造販売等を行っている小規模事業者に対して、本年についても札幌圏を含む道内一円を中心に販路開拓に向けた出展支援を行いたい。

出展支援については、例年「にぎわい市場さっぽろ」（札幌市）にて実施をしていたが、近年来場者数が減少しておりマンネリ化が予想されることから、新たな販路開拓及び出展支援先のPR増の強化も兼ねて、今年度は「J P O 1まつり（秋）」（札幌駅前地下歩行北3条交差点広場西）を予定としたい。

支援の際には、来場者へのアンケート調査も行い出展商品の改良等に向けた支援を行いつつ合わせて、出展支援先に係る出展商品及び販売強化を念頭に、POP等の専門家による支援を行いたい。

なお、上記しました「J P O 1まつり」に関連して、地域資源を活用した事業者を含む業種に関わらず小規模事業者5社程度の範囲で、「プチJ P O 1」の下川町版を作成して、全道の道の駅及び旭川空港等に配布を行い、掲載事業者の新規顧客の獲得と売上増加に係る支援を行いたい。

6 経営発達支援事業の評価・見直しを行う事業

経営発達支援計画に係る伴走型小規模事業者支援推進事業内容及び結果を評価委員会にて報告し、審議をいただき委員会の結果内容は商工会ホームページにて公開し周知を行いたい。

合わせて、道内全商工会で導入されているクラウド型経営支援ツール「ShokoBiz」を活用しながら、対象事業所の効果的及び効率的な経営支援を行いたい。